

多様な容器をフィルムで 包装、美観と安全を高める

- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンリー技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



完璧な美しさ、無限の装着力。
「シュリンク包装」独自のプレフォーム加工により、ありとあらゆる形状の容器にびたりと装着。他にはないクオリティの高い仕上がりを可能にします。

容器形状に合わせたプレフォーム

業務内容

ボトルやキャップの包装で 外観品質向上に貢献

「アドパック」は、平成4年に創業し、ボトル・容器用のキャップシールやシュリンクラベルなどの製造を手がけている。特に容器の型に合わせたフィルムを予め形成するプレフォーム加工を得意とする。この加工法は通常よりフィルムのロスが少なく、より美しく容器に装着させることが可能である。

同社は800種類を超える金型を有しており、多種多様なニーズに対応できると好評だ。キャップシールによる中身の安全性向上とプレフォーム加工による美麗な外観の演出で製品に付加価値を持たせることで、数多くの企業と取引があり、ジャムや調味料などの食品や酒類、医薬品、シヤンプーなど幅広い商品に採用されている。特にプレフォーム加工は図柄や文字の歪みを抑えることができ、目を引く仕上がりで高い評価を受けている。

強み

プレフォームで 絵柄や文字を歪みなく表現

日本は商品の外観の品質基準が高く、独自のラベル市場を形成している。特に薬品や化粧品、食品などで独自性や高級感をアピールするため複雑な形状の容器を採用する商品が増えてきた。独自の技術やノウハウが必要なプレフォーム加工に注力してきた同社は、フィルムを熱で収縮させた際に、しわや絵柄・文字の変形、位置のばらつきなど歪みが発生しないよう設計を工夫し、多くの顧客からの要望に信頼で応えている。

仲川進社長は「非常に落差の大きい変形ボトルにも、きれいにフィルムを装着する技術を求められてきた」と特殊品への対応力に自信を持つ。

独術

ボトルの軽量化や特殊形状の 容器でも高品質の包装

同社ではオーダーメイドでプレフォーム型の

設計をするだけでなく、収縮後の外観を見て容器に合わせたラベルのデザインを構成し、多種多様な容器に対応している。

協力会社との連携に加え、滋賀県高島市の自社工場では独自の生産体制により、大型で難易度の高い形状の容器に合った製品を短期間で大量生産できる仕組みを実現した。仲川社長は「商品を美しく魅力的にするだけでなく、あらゆる容器に対応できる機能的な製品をスピーディーに提供し、最高の品質と安心安全を届ける役割を今後も果たしたい」と語る。

後の展望

容器全体を覆う デザイン可能な新製品を開発

従来以上に高付加価値のラベルを提供するため、新製品開発にも取り組んでいる。その一つが印刷した1枚のフィルムで商品全体を包装する「包むくん」。同社の独自開発で、特許権を持つ包装品である。

容器全体を訴求力のあるデザインで覆うことができるうえ、密封性が高く破瓶防止などの機能も見込める。食料瓶などでの需要を見込んでいる。これまで顧客に提供したサンプルはおおむね好評で、仲川社長は「今後、新しい一翼を担ってくれると確信している」と自信を見せる。絵柄を施したフィルムでケース全体を自動で包む機械も開発中だ。



容器全体を覆う「包むくん」



プレフォームを製造する工場

当社の歴史



平成4年の創業以来、キャップシール・シュリンクラベルプレフォームに力を注ぎ難易度が高く厳しいニーズに応えてきました。技術と設備を研鑽(けんさん)し、他社の追随を許さない高品質な製品を迅速に提供することにより、顧客の信頼を獲得し、さまざまな企業と長きにわたり取引を続けています。

代表取締役社長 仲川 進さん

<http://www.capseal.jp/>

主な事業内容

シュリンクフィルム、キャップシールの製造・販売

主な取引先(納入先)

ガラス瓶・樹脂ボトルメーカー、食品・飲料・酒類メーカー、医薬・化粧品メーカーなど

●住所

〒569-0822
高槻市
津之江町1-45-1

●TEL 072-673-8577

●FAX 072-673-8591

●創業 平成4年8月

●設立 平成4年8月

●資本金 1,000万円

●従業員 18名

大阪29